

特定非営利活動法人 白神山地を守る会

活動場所

青森県 鱒ヶ沢町

白神山地ブナの森の 復元再生プロジェクト



植樹前の説明

1993年設立。世界自然遺産に登録される前に白神山地で伐採されたブナ林を復元するため、自ら流域の奥山から種を拾い、苗木を育て、植林を継続的に行ってきました。「クマガラの森の復元・再生活動」としてこれまで植えたブナの本数は約1万8千本を超えています。

特定非営利活動法人 地球の緑を育てる会

活動場所

茨城県 つくば市・つくばみらい市

人の暮らしを支える 水源の森づくり!



植樹祭

2002年設立。地域住民に多くの恵を与えてくれる霊峰筑波山の森は、心の支えにもなっています。2006年から、筑波山水源の森づくり植樹祭を毎年開催してきました。山が蓄えている水を後世につなぐため、森を大切に育ててゆくことを多くの市民と気持ちをひとつにし、筑波山の森に感謝の気持ちを込めて木を植えています。

「環境負荷の軽減」を目指し
パネルでの制作を無くし
FSC認証紙を使用した
ポスターにて製作を行って
おります。



特定非営利活動法人 一二三富の会

活動場所

埼玉県 坂戸市

樹木の選別処理、落葉樹の植樹を行い、生物多様性に富んだ森を次世代に引き継ぐ



草刈り、森内整備作業

2014年設立。地域の緑保全活動を行っていた前身の「緑を守る会」を基盤に当NPOを立ち上げ、緑を生かしたまちづくり、貴重な樹林地を市民の森として維持管理、他に健康野菜の栽培や販売などを行っています。また、子供や若い世代を対象に自然環境教育イベントも開催し、自然体験と多世代交流の場づくりにも取り組んでいます。

木もれびの森の 花と木々を守る会 (愛称:ここももの会)

活動場所

神奈川県 相模原市

持続可能な方法で
ここももの森を管理し、
次世代に豊かな自然を引き継ぐ



土壌動物観察会

2022年設立。生物多様性ゆたかで、持続可能な森づくり、また地球温暖化対策に有効な森づくりを推進するため、当団体を立ち上げ、相模原市と森づくりパートナーシップ協定を結びました。植生調査と保全活動を実施しながら、次世代育成のためのプログラムや、森と人コンサート、森まつりなどのイベントも開催しています。

「環境負荷の軽減」を目指し
パネルでの制作を無くし
FSC認証紙を使用した
ポスターにて製作を行って
おります。



NPO愛宕山ランド

活動場所

岐阜県 美濃市

里山の価値を 再発見する森づくり



植栽帯作りで石を並べていく参加者

2018年設立。美濃市の中心部に位置する、近隣の保育園や学校からも近い愛宕山にて、危険木の伐倒、下刈りや枝葉の伐採を行っています。また、里山の価値を再発見するため、パーマカルチャーのデザイン手法の一つであるフォレストガーデンを利用した「食べられる森作り」にも取り組んでいます。

特定非営利活動法人 静岡山の文化交流センター

活動場所

静岡県 川根本町

里山水源の森 復元事業



放任竹林伐採跡地での広葉樹植樹

2015年設立。当初は「南アルプス学概論」講座を開設し、知の普及に取り組んできました。現在は、里山水源の森の復元活動として、常緑広葉樹と在来落葉広葉樹の植樹を行い、地域住民を災害から守り、安定した生活を保障するとともに、安全な憩いの場として利用できる森づくりを目指しています。

「環境負荷の軽減」を目指し
パネルでの制作を無くし
FSC認証紙を使用した
ポスターにて製作を行って
おります。



かしわら森の会

活動場所

大阪府 柏原市

いぶらの森「生物多様で豊かな森づくり」と万葉つつじの植樹運動などで森林循環の促進



ヤマザクラやコバノミツバツツジの植樹

2015年設立。自然観察を市民と楽しむ会としてスタートした団体です。かつては里山として活用されてきた森や農地が放置され、荒れ放題になっています。それを「里山の森」に再生・創造するために取り組んでいます。近年は、市民や子どもたちに森の中の自然観察・森林体験やイベントを楽しんでもらえるようになりました。

特定非営利活動法人 霧島ふるさと命の森をつくる会

活動場所

鹿児島県 霧島市

いのちの森づくり
ふるさとの木でふるさとの
命の森をつくる活動



植樹後の藁マルチング

2011年設立。当初から潜在自然植生(宮脇方式)の方法で植林活動を毎年行ってきました。荒廃してきた里山を再生し、将来的には経済林としての価値よりも、生物多様性や景観、また市民の生活を守る防災林・環境財としての価値を高めていきたいと考えています。

「環境負荷の軽減」を目指し
パネルでの制作を無くし
FSC認証紙を使用した
ポスターにて製作を行って
おります。

